



中長期経営戦略

2020年8月11日

Eyes to the all machines

- Kudanが提供する「人工知覚=眼」は、「人工知能=脳」と相互に連動・補完し、機械（ロボット・コンピュータ）の自律的な行動や機能を実現する

人工知覚
(Artificial Perception)

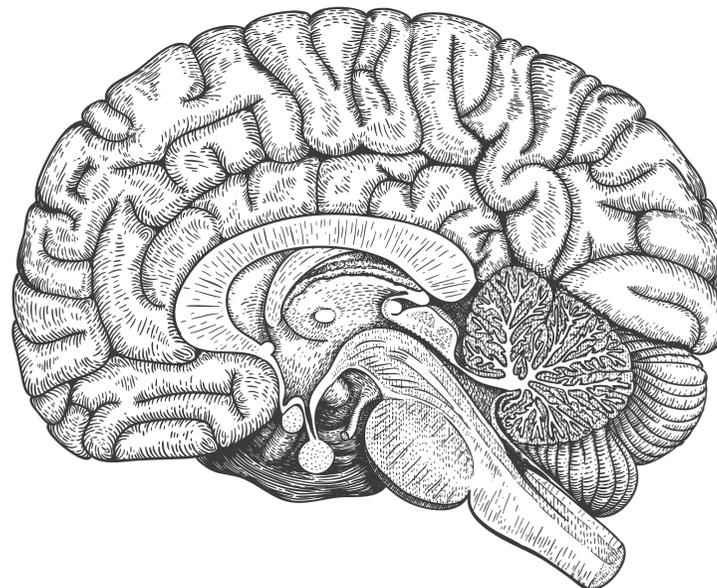


人工知能
(Artificial Intelligence)

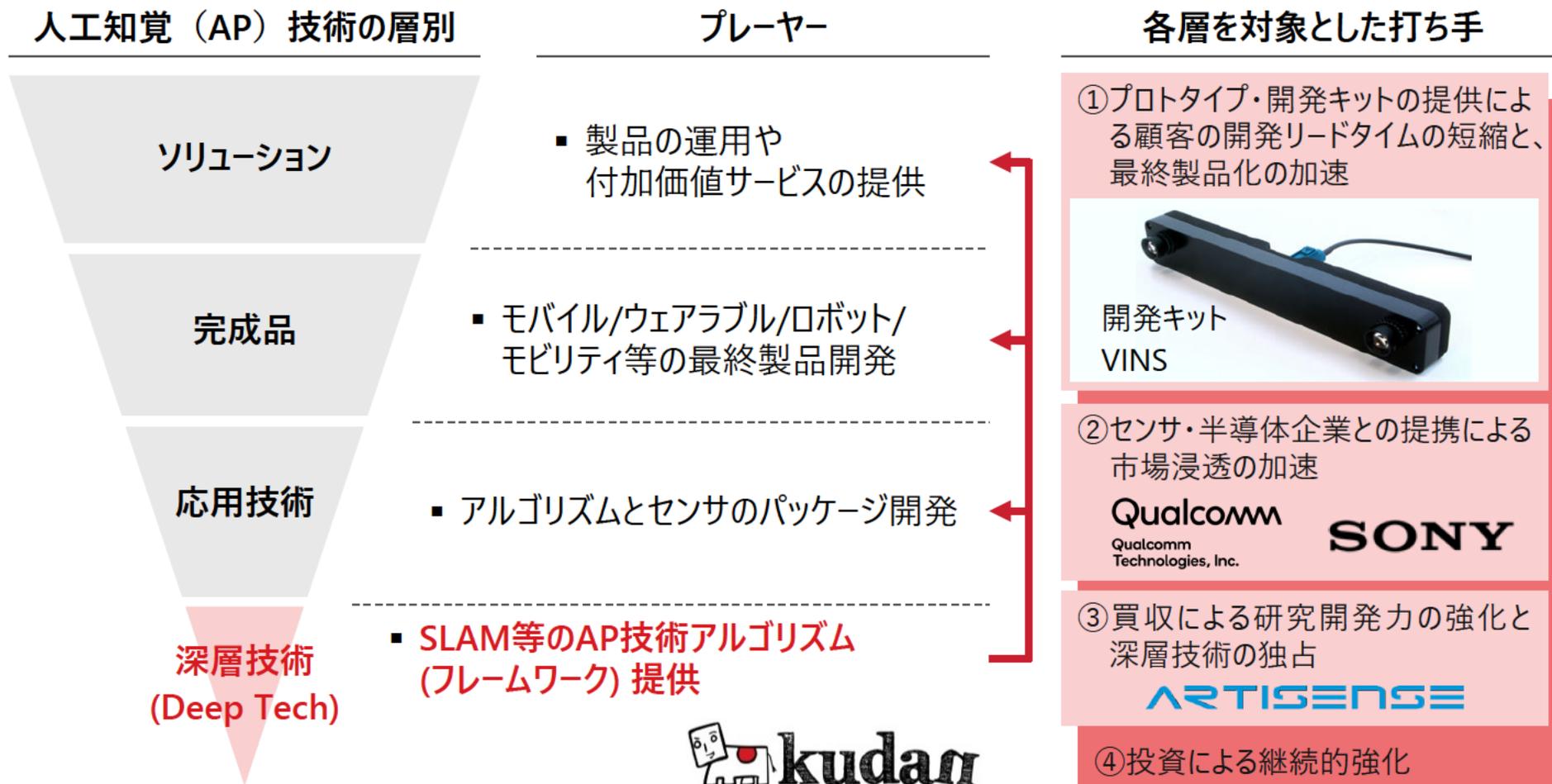
||
周囲を理解する機械の「眼」



||
適切な判断を下す機械の「脳」

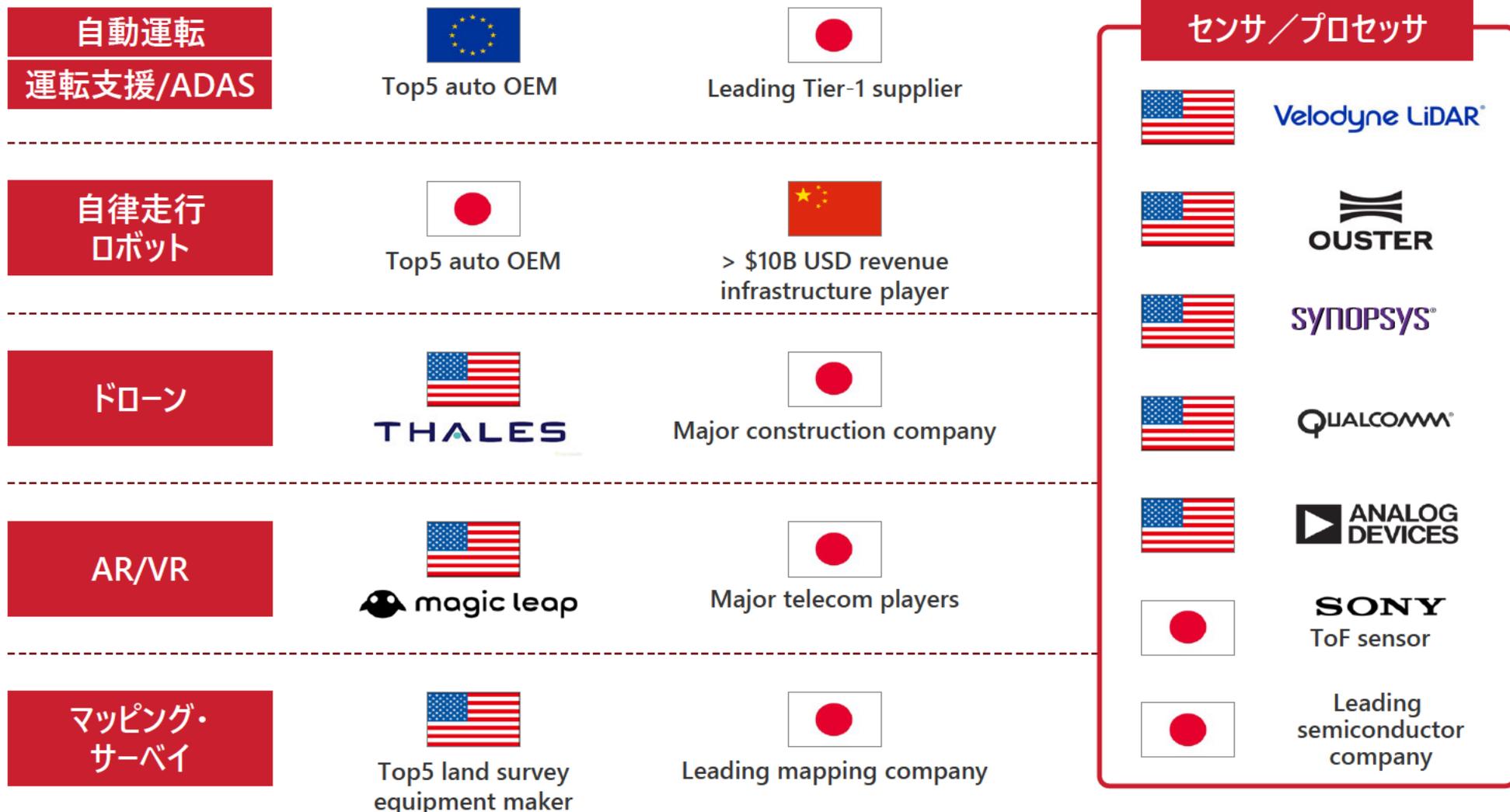


- ボラティリティの低い深層技術（Deep Tech）の層の独占に注力しながら、上位の各層における市場創造・開拓を加速するための打ち手を推進していく

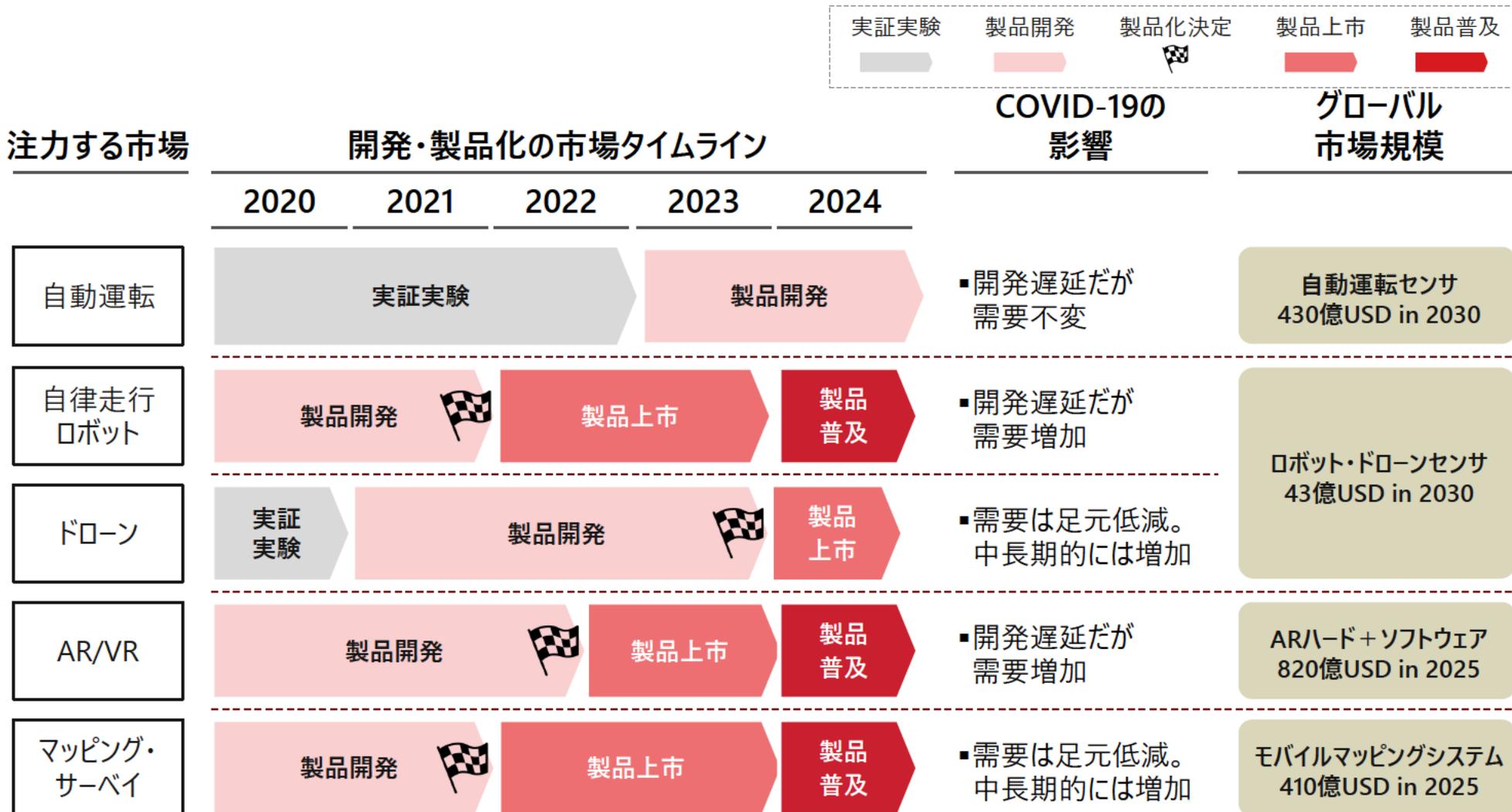


各市場における案件例

- 注力する市場における案件拡大に加えて、領域横断のセンサ／プロセッサ案件も増大し、グローバル規模で実績が蓄積している



— 参入済みの各市場において、顧客での開発進捗・製品化に同期して、売上増を見込んでいる



出典：McKinsey & Company – Automotive software & electronics 2030, Global Market Insight – Robot Sensor Market, Size by Product (calculated as 1.4 Bil USD in 2020 and has 11% CAGR until 2030), Augmented Reality Market Trends - Industry Research Report 2024 (calculated as 50 Bil USD in 2024 and has 65% CAGR in 2025), Kenneth Research – Mobile-Mapping Market (calculated as 42.5 Bil USD in 2023 and has 13.4% CAGR until 2025)

- 既存の人工知覚事業の拡大に加え、更なるM&Aによる深層技術（Deep Tech）の強化及び領域の拡大を目指す

収益モデル	顧客ごと案件フェーズ			
	製品開発		商用化	
	開発開始	開発マイルストーン達成	製品上市	製品普及
	開発ライセンス報酬開始	開発ライセンス報酬拡大	商用ライセンス報酬開始	商用ライセンス報酬拡大
実績	約40件のライセンス供与	開発マイルストーン達成ごとに概ね+100-200%の案件報酬の拡大	商用化1件、商用ライセンス3件契約済、その他複数案件で商用ライセンスへの移行交渉中	N/A
2030年目標	フォーブス2000規模の大企業案件の拡大	平均開発ライセンス報酬40百万円以上/案件	累積案件の20-30%の商用化	平均年間商用ライセンス報酬2億円×累積案件数50件以上

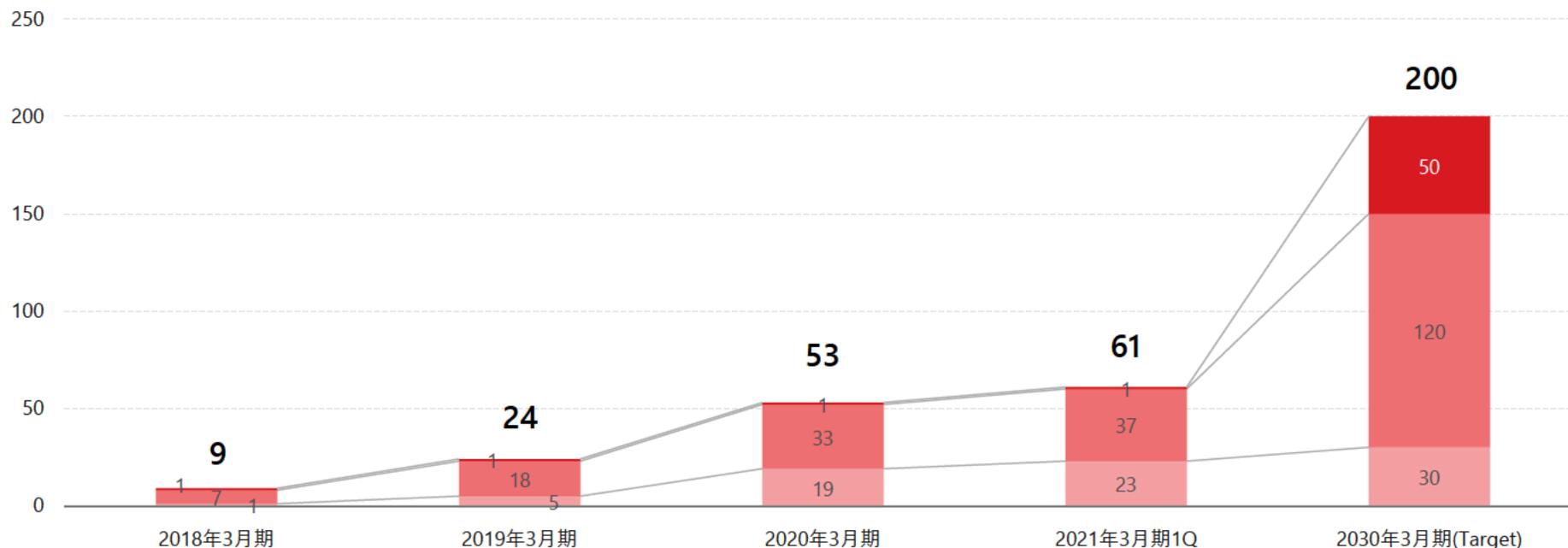
更なるDeep Tech 投資/M&A

事業進捗及び経営目標（累積案件数）

- 各市場における技術普及と収益化拡大を見据えて、足元では継続して案件を拡大（2020年3月期・2021年3月期共に年間+30件ペースの増加）
- 提供技術の評価フェーズを経て実用化フェーズに到達する案件比率の増加により2020年から2030年で累積案件数の安定成長（年間+15件・累計+150件）と大規模案件の商用化（累計50件）を目指す

累積案件数

■ 評価 ■ 開発 ■ 商用



- 本資料は、当社の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。
- すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2020年8月11日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではございません。